

# 学校だより かけ橋

2011. 12. 16  
No. 20

横須賀市立汐入小学校 校長室



## 携帯教室

高学年の子どもたちに、携帯電話の使い方のマナーやルールを学んでもらおうと KDDI 携帯教室を行いました。12月12日（火）のことです。保護者の方にも呼びかけ、参加していただきました。



講師の先生は、何校も学校をまわって話している方で、パソコンの画面でとてもわかりやすく説明してくれました。子どもたちも、自分のこととして受け止めて、真剣に話を聞いていました。

「携帯電話は、必要になったら買うこと」「携帯を持っている人は、ルールとマナーを守ること」「そのルールとマナーは、家族で話し合って決めること」等々、子どもたちだけでなく、多くの保護者の方にも聞いていただきたい内容でした。

配布されたパンフレットには、次のようなドキッとする一言も書かれています。

「うちの子に限って」「ケータイは子どもの方が詳しいから」・・・と

ケータイの利用を子ども任せにしていますか？

**保護者の無関心は、子どものネット被害の増大につながります。**

携帯メールで、友達関係が悪くなるという事例では、子どもたちは、特に真剣に画面に見入っていました。講師の先生の「ネットいじめは、卑怯者のやること」という言葉が、心に響きました。

携帯電話は、便利なツールです。大人として、正しい使い方をしっかり伝えなくてはいけないと感じました。



## 冬のお話会



12月14日（水）、図書室で、保護者の方の図書ボランティアによる冬のお話会が行われました。前日から準備して、当日も早くから、PR 活動をしてくださいました。

その効果もあってか、1時10分には、準備した椅子がいっぱいになり、折りたたみ椅子を持って来なければならないほどの盛況ぶりでした。

ピアノの生演奏による「あわてんぼうのサンタクロース」が流れ出すと、子どもたちが自然に歌い出しました。





紙芝居を実物投影機で大きく映し出し、とても見やすくなっています。読み方にも感情が込められているので、子どもたちは、物語の世界に引き込まれていました。

お話を聞いている子どもたちの笑顔と企画した図書ボランティアの方々の笑顔に包まれて、昼休みの図書室がとても幸せな空間になりました。

## 汐っ子募金

今年も恒例の汐っ子募金が始まりました。

5年前の6年生が、総合的な学習の時間に学んだ国際理解の学習で、世界には恵まれない子どもたちがいることを知りました。たった、1000円のお金で、子供用のワクチンが76回分も買うことができ、多くの命を救うことにつながることを学びました。自分たちも少しでも役に立てることは無いかと始めたのが、この募金活動です。

今年は、話し合いの結果、例年のユニセフ募金と東日本大震災の支援の募金と両方の募金箱を作りました。

汐入駅の改札口の前に立ち、大きな声で募金を訴えました。12日(月)午後4時45分～3時45分まで行いました。

話す言葉を教室で考え、練習してきたのに、いざとなると、なかなか声になりません。元気な男の子が、「募金お願いしまーす。」と大きな声で言いました。それに勇気づけられたか、次々に募金を訴える声が響きました。



教室では、割と物静かな子どもたちが、「貧しい国の子どもたちが、元気に過ごせるように募金活動をしています。」「みなさんのご協力で被災された方に元気が届けられます。」と、学んだことを大きな声で訴えています。「募金してくれそうな人が、見て分かるようになってきた。」と、いつもは自分から話すようなタイプでない子どもが、誇りに話していました。

町に行く人たちの「寒いのにご苦労様。」「がんばってね。」という、温かな言葉に励まされて、子どもたちの声もますます大きくなります。

保護者の方が、わざわざ募金を届けてくれたり、「おばあちゃんが貯めておいたお金だよ。」と下級生が持ってきてくれたりしました。

人々の善意に支えられたこのような経験が、子どもたちの心の成長につながっていることを実感しました。

月曜日から3日間行いました。授業時間の関係で、火曜日は、午後3時20分から1時間、水曜日は、午後2時45分から1時間汐入駅前で行いました。

集まった募金は、11月19日(土)に行われた汐っ子バザーの売上金と合わせてユニセフと東日本大震災の支援金に寄付する予定です。

